

卒業論文発表会

人前で研究を伝え、理解を得ることの難しさを知りました。

社会に出ると第三者にものを伝えるためのプレゼンテーション能力が必要となってきます。

これから就職する病院あるいは学会でも理解させることが大事です。

このプレゼンテーション能力の向上のため、理学療法学科では1期生から継続して3学年の12月に卒業論文発表会を開催しております。

そこで今回発表会を体験した白戸さんにお話を聞いてみました。

卒業論文は学科で勉強した内容と実習経験から「片足着地動作実験」をテーマにした内容にしました。
この卒業論文をプレゼンテーション用にパワーポイント40枚の資料に仕上げ、いざ発表へ。
当日は教員20名、発表者20名、2・3年生60名の計100名が、100点満点での評価をするため私の発表を聞いていただきました。(教員50点・その他50点の持点)
こんな大人数の前で自分の研究を伝え、理解を得るという難しさに正直緊張しましたね。



みうらまさし
理学療法学科 講師 三浦雅史
しらとななこ
理学療法学科 4年 白戸菜々子

そんな白戸さんも発表会を行ったことで人に伝えるポイントは理解できたと話します。

今回この発表会を担当した三浦講師は「この発表の場は中身よりプロセスの場、論理的に物事を順序立てて説明できるプレゼンテーション能力につなげ、それぞれの活動分野で役立ててほしい」と願っています。

学科紹介

本学初！就職戦線がんばる 栄養学科

今回は本学開学以来、初めての就職活動に望む「栄養学科」の特集です。

栄養学科が開設されて3年目。

学生はもとより学科内担当、本学が一丸となって就職活動に取り組んでおります。現在の心境を、栄養学科3年の濱谷さんと菅野さんに語っていただきました。



●濱谷さん

高校のころからダイエットや栄養学に興味があってこの大学を選びました。入学当時はおぼろげだった授業の内容も実験や実習を通し理解につながっていきました。目指すは県内の行政に関わる管理栄養士。狭き門ですが頑張ります。

●菅野さん

福島から青森に来た事で、一人暮らしを通してご飯を自分で作る機会が多くなり、身近に栄養学に触れることとなりました。就職競争が激しいといわれる関東で医療に関わる分野で頑張りたいです。



さいとうちょうとく
栄養学科 講師 齋藤長徳
はまやまい
左 同3年 濱谷 舞さん
かんのさおり
右 同3年 菅野沙織さん

この初めての就職活動を陰で支える学科内担当の齋藤講師はちょっとドキドキした思いを持ちながらも、3学年33名全員の将来のため、日々行政や企業等管理栄養士関連の営業にまわり、就職先の開拓のため頑張っております。

社会に貢献できる管理栄養士目指して頑張るぞ！栄養学科！